



東京外国語大学留学生日本語教育センター
講演会
元国費留学生が語る最前線



「タイの現状と日本との係わり：現場の視点」

日時：2014年3月15日（土）14時～15時40分

会場：東京外国語大学留学生日本語教育センター さくらホール
参加費無料 予約不要

講演者：ウイチェン チェックパイチャヨン 氏

講演者経歴：

1972年日本政府（文部省）国費留学生として来日。東京外国語大学外国語学部附属日本語学校を経て、大阪大学に進学。大阪大学大学院後期過程（博士課程）修了。

その後、タイ王国大使館学生部、教育担当官、課長、所長（1984－1999）を経て、（株）ミズキ（タイランド）社長補佐、日本語教師（高校、中学等）、日系会社の社長顧問。

講演は日本語で行います。

質疑応答を含め90分ほどの予定です。

日本政府国費留学生制度とは

日本政府（文部科学省）の国費外国人留学制度は1954年に創設され、学部留学生、研究留学生、教員研修留学生など7つのプログラムで構成されています。本センターの前身である外国語学部附属日本語学校は1970年に学部留学生の予備教育機関として設置され、現在は日本語教育を中心に様々な留学生教育プログラムを実施しています。

お問い合わせ

講演会担当

jlc-koenkai@tufs.ac.jp

TEL：042-330-5775

会場

JR 中央線：「武蔵境」駅のりかえ、西武多摩川線で「多磨」駅下車 徒歩5分

京王電鉄：「飛田給」駅北口より、多摩駅行きの京王バスにて「東京外国語大学前」下車



主催 東京外国語大学留学生日本語教育センター / 協力 東京外国語大学社会・国際貢献情報センター
後援 府中市